

	No.	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価の説明
学校の運営組織	1	学校は、教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A 3.4		A 3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に計画され、一つ一つ検証しながら取り組んでいる。 ・校長・教頭を中心に、教職員全員が児童のために動いている。
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっている。	B 3.2	・子どもの問題などゆっくり話し合える時間が持てない。	B 3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生によって個人差がすごく出ている。 ・評価して改善するにあたり、教職員が意見を交換し合える雰囲気である。 ・遊び時間、校庭で遊んでくださる先生がいるのは子ども達にはとても楽しみだと思う。 ・先生と児童とのゆとりの時間が増えるとうい。
	3	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B 3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスにインターホンがほしい。 ・ピロティ校舎と職員室との連絡が取りにくい。地震速報未受信の点から。 	B 3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・市道1号線の学校出入口の安全面に行行政力を。 ・学校だけでなく、行政からの予算面、地域住民の協力などの外部要因の整備も必要。 ・校舎の構造上、安全面については他校よりも配慮が必要。 ・学区に近い学区外の場所の不審者情報など連絡してほしい。 ・引取り訓練の実施、避難訓練の実施で、体制は整備されている。 ・学校は努力されている。 ・何も無い今だからこそ何か対策を。校門のガードレールは出来てよかった。
基礎学力の定着	4	児童は、教職員の指導により、基礎学力を身につけている。	B 3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差が大きい。漢字、計算の基礎を行っている。個別指導を行っている。個別指導や個別に対応する時間がとれない。ステップアップで力を付けている児童もいる。学力差が目立つ。ステップアップ教室など基礎学力徹底に力を注いでいる。 	A 3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の指導の仕方、児童は伸びると思う。 ・個人で相談した時に個別指導を分かりやすくして下さった先生がいた。 ・宿題の出し方に共通性があると良い。 ・見本などが分かっている児童に対して算数ステップアップ教室を開いている。
	5	学校は、学力向上を目指し、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。	B 3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後のステップアップ教室、少人数指導、TTでの授業を行っている。 ・算数ステップアップ教室、少人数指導など。 	B 3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ指導の内容に改善が必要ではないかと思う。 ・底辺を意識するあまりにできる児童に対する学力向上対策はとられていない。
	6	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	B 3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級に「学習の約束」を掲示し、学習規律を意識している。学習規律がそろっていないので個人判断で指導している。「話を聞く」に力を入れ指導したい。 	B 3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス足並みそろえて学校としての特性を、地域性を出してほしい。 ・「朝学習」内容が学級によって異なる。 ・「人が話している時は聞く」など、基本的なことは徹底されている。 ・同学年でもクラスにより宿題の量が違うので統一した意識をもってほしい。
規律ある態度	7	児童は、友達や教職員・来校者に進んであいさつができる。	B 2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか関わりの少ない教師に対してや来校者には自分から挨拶ができないと感じる。児童からあいさつすることができていない。自分からはなかなか挨拶ができない児童もいるが、声をかけると挨拶を返してくる。こちらから挨拶するとするが、進んではしていない児童が多い。 ・できる子とできない子の差が大きい。 	B 2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の児童より低学年の児童が進んで挨拶する。 ・あいさつはまず身に付けるマナーであり、社会性ですので、普段から頑張ってもらい、家庭での指導をお願いしたい。 ・大人から挨拶すればしてくれるが、自ら進んで挨拶する子は少ない。 ・元気にできる子とできない子がまだいる。恥ずかしいのかも。 ・友達や教職員には挨拶できているが、自ら進んでという場面は少ない。挨拶すれば返ってくる。 ・進んで挨拶する児童は稀である。一人でいる児童にこちらから挨拶すると小さな声ながら返ってくることもあるが、何人かといると挨拶しても返ってこない。 ・来校者への挨拶はまだまだ改善できる。
	8	児童は、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができている。	B 2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年でもまだ不十分な児童がいる。特に生活面での言葉遣いが課題。大人や教員に対しての言葉遣い、敬語の使い方ができていないときがある。友だちどうしで暴力的な言葉遣いがある。教師や目上の人に対して敬語ではなしていない。 	B 2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・高低学年児童が不十分。大人から見本になりたい。 ・言葉遣いは大人も見直すべき点がある。家庭での取り組みが一番大切だと思う。 ・場や相手に応じた言葉遣いできていない。暴力的な発言も多い。 ・来校者に対して話をするときは「です、ます」での受け答えは感じられない。しかし固すぎると子どもらしくない。項目にあるように「場」に応じてできれば良いのでは。 ・教職員には丁寧な言葉を使っているようだが、保護者には友達のような言葉遣いになることが多い。 ・日本語を大切にしたい取り組みもしていただきたい。
	9	児童は、いじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送っている。	B 2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いの悪い児童や、言い方のきつい児童がいる。容姿について言っている児童を見たことがある。指導は継続しているが、意地悪な行動や学童の様子を聞くとまだ指導が必要。いじめの早期発見、解決できるよう、多くの教師の目で見たい。保護者からも協力してもらい日常から働きかけてやっとな保っている。ストレスや不安をかかえている児童が多い。 	B 3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側、子どもから聞く限り、いじめはないようですが、今後も早期発見・予防に努めていただきたい。 ・相手の気持ちを考えた言い方が出来ていない子が多い。 ・意地悪なことを注意しても平気で繰り返す児童もいるが、大半の児童は素直で悪質ないじめはない。 ・クラスでまとまって力を合わせることに取り組み、みんなで汗を流したり頑張ることで、お互いの信頼感ができて、いじめも少なくなると考える。
	10	教職員は、自ら手本となるなど、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	B 3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下のゴミや掲示物が落ちていたり、何日もそのままのときがある。 	B 3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・先生により意識の持ち方に差がある。 ・規範意識があるかは定かではないが、子供に対して悪影響を与える教職員は少ない。

健康・体力向上	11	児童は、体力向上に向け、体育の授業・外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B 3.3	・寒い季節になると教室に残る児童が見られる。・外で遊ばず、校舎内を走り回っている姿をよく目にする。	B 3.2	・スポーツを楽しむこと通じて、先生と一緒に元気に校庭で遊んでいる。 ・寒い時期は休み時間、教室に残る子供もいるが、多くの子供たちは校庭に出ている。今後も課題やゲーム性を持たせて外遊びさせて頂きたい。 ・廊下のない校舎があり、休み時間には体育館も解放してみればどうか。 ・寒い時期になると校庭で遊ぶ児童の数が減っている。 ・20分休みや昼休みに教室に残って遊ぶ児童も多い。
	12	学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B 3.2		A 3.4	・心身ともに健康で元気に体力・健康づくりに対応している。 ・体育の項目（マット、鉄棒など）の出来ていない子に対して特別教室など開いてほしい。 ・持久走の練習、縄跳びなど、小さな目標をいくつもクリアしてゴールできるような策をとってある。
地域との連携	13	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	B 3.3	・廃品回収など地域の取組みに多くの職員が参加している。	B 3.1	・休日の祭りや廃品回収に協力して頂ける教職員の方が多く、子どもだけでなく、保護者・住民の信頼を得ている。 ・地域活動も少なく、ふれ合いがないようである。 ・廃品回収の時期・場所が地域に人にもっと分かりやすくすると良いと思う。 ・毎年地元農家の方に指導していただき、農業体験を行っている。自治会との連携がとればなお良い。 ・校長、教頭以外の先生達の地域の交流があってほしい。
	14	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	B 3.1	・自分自身、必要な情報を提供できていない。・ホームページの充実を図る必要がある。新倉小のホームページは更新されないことが目立つ。・更新日が遅い。随時更新した方が良い。	B 3.0	・HPの更新頻度が他の学校に比べて遅い。充実を図ることにより、保護者・地域への情報共有を図ってもいい。 ・学校の様子がよく分かりありがたいと思う。 ・ほとんど更新されていないようなので、ほとんど開いたことがない。行事ごとに更新されたら良いと思う。 ・学校だより、学年だより、クラスだよりにより、学校内での様子が分かる。HPの更新を頻繁に行ってほしい。掲示板をもっと活用するべき。

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入。 Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均点から、A：3.4以上 B2.6以上 C2.0以上 D2.0未満

〔職員意見〕

- ・職員会議が報告や連絡の場になり、なかなか意見を出し合う会議になっていない。意見の言いやすい雰囲気や意見を出し合う時間を大切にしたい。
- ・チョウタイムの在り方について検討したい。
- ・職員室が和気あいあいと話しやすい感じで安心できる。校長先生の「輪を大切に」の意識が広まっている。各学年、他学年同志も密である。
- ・ピロティー校舎のトイレにつてもう少し美しくなると良いと思う。
- ・パワハラのないあたたかな雰囲気が造れている。じっくり話し合い学べる時間が勤務時間内にあるとよい。
- ・ピロティー昇降口とトイレは何らかの改善が必要。